

# 令和7年12月定例会会議録

(令和7年12月19日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 12月定例会会議録

- 【開催日】 令和7年12月19日（金）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長  
渡 邊 裕 一 教育委員  
澤 村 互 寛 教育委員  
早 田 蛭 教育委員  
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長  
鋤 田 敦 信 教育部次長  
下 津 恵 美 教育部次長  
押 方 佐地子 教育政策課長  
加 賀 真 一 学校教育課長  
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長  
泉 宜 孝 生涯学習課長  
有 働 有里子 教育サポートセンター副所長  
田 島 良 洋 博物館未来の森ミュージアム副館長  
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長  
中 松 大 輔 教育政策課長補佐兼学校給食係長
- 【事務局】 池 田 拓 次 教育政策課主幹兼教育政策係長  
浦 本 美代子 教育政策課参事
- （審議事項） <議案案件>  
① 八市教委議第29号 八代市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の廃止について
- <協議案件>  
① 協議第8号 第4期八代市教育振興基本計画（素案）について  
② 協議第9号 八代市立学校再編等基本方針（素案）について
- <報告案件>  
① 報告第27号 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の社会教育主事発令について  
② 報告第28号 八代市議会令和7年12月定例会について（一般質問要旨・答弁書）【教育委員会関係分】  
③ 報告第29号 令和7年度12月補正予算の概要について  
④ 報告第30号 （仮称）新南部学校給食センター設計概要について

1. 開会 (午後2時03分 開会)
2. 会議録承認 令和7年10月定例会
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
4. 議題

<八市教委議第29号> 八代市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の廃止について

押方教育政策課長 第3期八代市教育振興基本計画の計画期間が令和7年度で終了することに伴い、八代市教育振興基本計画策定委員会を廃止するに当たり、要綱を廃止するもの。

質問等なし

【八市教委議第29号 承認】

<協議第8号> 第4期八代市教育振興基本計画（素案）について

押方教育政策課長 第4期八代市教育振興基本計画（素案）について、10月定例会においてご意見をいただいた。その後、関係団体ヒアリングを経て、一部変更した。資料により説明

渡邊教育委員 変更点の概要が最初にまとめてあり、それぞれのページに補足説明があり、大変分かりやすく助かった。丁寧なお仕事であると思ったところである。

これで良いと思うが、1点だけ気になった部分がある。基本目標5の加筆してある箇所のなかで、「子供たちの将来を見据え、豊かな人間関係や社会性を育む学校再編」とある。学校再編を修飾している部分であるが、学校再編の基本方針で、このような言葉が使ってあったらと思う見返してみた。内容としてはそのとおりであるが、どこかで同様に使ってあったらどうか。

押方教育政策課長 再度、確認したい。

中教育長 学校再編の基本方針と齟齬がないか、確認をお願いしたい。

<協議第9号> 八代市立学校再編等基本方針（素案）について

植田未来の学校づくり推進室長 今回の素案については、今回の協議を経て、八代市立学校再編等基本方針（案）とし、パブリックコメントを実施したい。資料により説明

渡邊教育委員 100ページ以後に概要版が載せてある。とても見やすく、分かりやすいと思うが、これは、どのような活用を考えているか。

植田未来の学校づくり推進室長 概要版は今回、参考として載せているが、パブリックコメントの際は、案と概要版を同時に市民の方々に見ていただきたいと思い作成した。

渡邊教育委員 実際、地域に説明するときは概要版が分かりやすいのではないかと思う。概要版の最終ページに誤字脱字がある。また、これまで素案を何度か見た際には気にならなかったが、小中一貫校についての記載のなかで、「異校種の学校による小中一貫校を検討します」とあるが、「異校種の学校による小中一貫校」なのか、「異校種の学校どうしの再編による小中一貫校」なのか、言葉を追加したほうが良いのかどうかと思った。

植田未来の学校づくり推進室長 ただいまのご意見については、推進室で検討し、修正がある場合はお知らせしたいと思う。

田中教育部長 教育委員の皆さまに、表記について確認していただきたい箇所がある。概要版のなかで、学校施設の状況の記載がある。「築30年以上経過しているものが約7割を占めており、10年後には8割を超えることが予測されています」という記載について、もう少し詳しく記載したほうが良いだろうか。現在が7割であれば10年後に8割になるのは当然と思われるだろうか。例えば、10年後には築50年を超えるものがどのくらいあるかと記載すると、老朽化をより表現できるのではないか。

中教育長 築30年というのは大事な年数なのだろうか。

稲本教育部理事兼教育施設課長 文部科学省がよく30年を指標としている。築30年、40年、50年の割合を算出している。50年以上であればかなり老朽化となる。八代市では築60年という施設がすでにある。

田中教育部長 築30年が大規模改造の指標ということによろしいか。

稲本教育部理事兼  
教育施設課長 20年で中規模の改修をしなければならない。40年で大規模改造をし、20年後の60年で中規模修繕、大規模改造、80年で建て替えということを文部科学省では示している。築60年以上の施設がかなりある本市の場合は、いま改修するより、建て替えの方向性がよいとシミュレーションをしている。

中教育長 何を表すために、その数値を出すのか。

田中教育部長 市民の方々に対して、危機感をあおるような表現をするのか、まだ大丈夫という表現をするのか。先ほど私が申し上げた例では、危機感をあおるような表現になるのではないかと思うが、いかがだろうか。

丸山教育委員 素案については何度も説明を聞いておきながら、先ほどの本文の説明を聞いて少し気になった。学校施設の状況については、概要版と同じ表現しかしておらず、少し分かりにくいのではないか。施設の老朽化の状況を表などで示したほうが分かりやすいのではないかと思いながら説明を聞いたところだった。田中部長がおっしゃったように、鉄筋の建物について築30年というのは、まだまだというところがあるので、築30年以上の建物が7割、8割というのは、学校再編のための材料としてはあまり説得力がないのではないか。

中教育長 概要版の学校施設の状況の最後に、「老朽化・長寿命化の対策を進めるとともに」と記載がある。老朽化・長寿命化の対策を進めるべき年数を記載したほうがよいのではないか。

田中教育部長 これについては、事務局で検討したい。

押方教育政策課長 先ほどの協議第8号 第4期八代市教育振興基本計画（素案）の協議のなかで、渡邊委員からご指摘のあった点について、この場で修正の提案をしたいがよろしいか。

学校再編等基本方針（素案）の冒頭に、「子供たちが多様な学びを通して成長できるより良い教育環境を整えていくための学校再編」という表記がある。教育振興基本計画（素案）においても、これと整合をとる表記にしたい。

中教育長 修正を加え、完成したものを教育委員の皆さまに示してほしい。

<報告第27号> 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の社会教育主事発令について

押方教育政策課長 臨時代理報告・八代市教育委員会職員の社会教育主事発令  
について、資料により説明

質問等なし

<報告第28号> 八代市議会令和7年12月定例会について（一般質問要旨・  
答弁書）【教育委員会関係分】

田中教育部長 八代市議会12月定例会においては、6人の議員から次の  
7件の質問があった。資料により説明

- ① 橋本 幸一 議員
  - ・令和7年8月大雨災害について
  - ・本市の学校給食について
- ② 堀口 晃 議員
  - ・市立幼稚園の廃園に伴う施設の利活用について
- ③ 橋本 隆一 議員
  - ・市立学校における人権教育について
- ④ 深田 浩介 議員
  - ・通学路の安全対策について
- ⑤ 橋本 徳一郎 議員
  - ・子どもの居場所づくりについて
- ⑥ 水田 千春 議員
  - ・本市中学校の校則について

丸山教育委員 給食費について、現在、負担軽減の補助をしていると思う  
が、年間どのくらいの額だろうか。

田中教育部長 一人につき1万円である。

丸山教育委員 全体の予算額はどのくらいだろうか。

中松教育政策課長 一人当たり、年間1万円を減額しており、対象者が  
補佐兼学校給食係 7,500人ほどであるため、7,500万円程度である。  
長

丸山教育委員 現在、交付金等の措置があるのだろうか。

田中教育部長 財源は全額、国の交付金である。物価上昇に伴う交付金を  
充てている。無償化が遅れる見通しであれば、来年度も今年  
度と同額の減額を考えていたが、国から金額が示されたの  
で、まずは小学校については、この金額としなければならない。  
い。

中教育長 一部保護者負担というのは中途半端な気がするが、早田委

員から保護者としてのご意見はないだろうか。

早田教育委員

私は、保育園の頃から給食費を負担してきたので、一部負担をすることについては問題ない。負担軽減についてはありがたいと思うので、一部だけは負担したいと思う。子供が栄養を摂取できることが一番だと思っている。

田中教育部長

市長がとても心配されていたのが、国が5,200円と基準額を示したので、無償化するなら、給食費を5,200円に落とせばよいのではないかとすることである。そうすると、給食の質が落ちてしまうのでそれはできない。給食の質を落とさず、無償化することが一番良い。市長の答弁でも、小学校が無償化となったので、中学校も同時に無償化をするということではなく、質や栄養価を保ったうえで無償化を検討するという表現をされた。議員からも、前市長が給食費の無償化と、北部地域の給食センター整備を言われていたので、新市長も同様に行われるのだろうかという意味合いを込めて質問があった。

丸山教育委員

幼稚園の利活用について、行政内部で希望を聞いているということであるが、反応はどうだろうか。

田中教育部長

庁内から希望を取っており、年度内には答えを出すこととしている。手が上がった部署からのヒアリングも行っている。これに活用したいと強い思いを持っている部署はなかった。用途は倉庫や備蓄倉庫などであったため、あまり熱意がなかったと思う。市長からは、地域の方々のご意見や民間からの希望があれば、そちらの声を積極的に聞くようにということだった。一部を教育委員会で不登校対策に利用したいと考えているが、残りの施設については、このままであれば民間への貸付や売却の方向で進むのではないかと考えている。

中教育長

代陽幼稚園以外はあまり希望がなかった。千丁幼稚園は、隣に保育園がある関係もあり、健康福祉部から学童保育などの提案があるのではないかと考えていたが、施設整備をしないと使えないということもあり、予算が準備されているようではないので、手を上げないという回答だった。

代陽幼稚園については、裏に代陽コミュニティセンターがあるので、地域からコミュニティセンターと一体化した使い方をしたいという声もあり、商工会議所からも利用したいという声がある。

丸山教育委員

倉庫としてはもったいない使い方だと思う。場所も広さもあるし、地域の方々も残念に思われるのではないか。何か良

い方法があるとよいと思う。

<報告第29号> 令和7年度12月補正予算の概要について

田中教育部長

資料により説明

●債務負担行為の設定

「学校施設水質検査業務委託」他7事業について、年度当初からの履行開始に備えるため、3月中に契約締結まで行えるよう債務負担行為の限度額設定を行う。

(12月12日提案分)

●人件費

人事院勧告等に準じた給与改定に伴うもの及び人事異動に伴う増減に伴うもの。

質問等なし

<報告第30号> (仮称)新南部学校給食センター設計概要について

押方教育政策課長

(仮称)新南部学校給食センターについて、今年度設計に着手し、実施設計が完了したため概要を報告するもの。

資料により説明

澤村教育委員

浸水対策について、球磨川が氾濫した場合の最大浸水想定は4.5メートルとある。今年8月の大雨では、盛土の位置までは浸水しなかったとのことであるが、床下浸水でもかなりの被害になり、床上浸水した場合は、1階の設備等についても使用できなくなると思う。2階にキュービクルや室外機等を設置し、被害を軽減するようにはなっており、人も2階に避難できるようにしてあるが、球磨川の氾濫に備え、もう少しかさ上げをすることはできなかったのだろうかという疑問に思った。今年の大雨では、短時間で浸水したこともあり、怖いと思った。

押方教育政策課長

最大浸水想定が4.5メートルということ踏まえて検討はしたが、この給食センターが浸水すると、市内全域、学校も浸水する状況が考えられる。4.5メートルをクリアしようとする、かなり勾配が必要となり、近隣の住宅にも影響があると思われる。また、給食センターの車両が入る場合に課題がある。様々な検討を行ったが、提示しているのが最大限の浸水対策ということで設計を行っている。

田中教育部長

あと2.5メートルかさ上げするとなると、南部幹線道路から上ってくると、建物をかなりセットバックしないと勾配が取れない。また、ぐるぐる回って上がるような設計となる

と、地盤改良が必要となりかなりの費用がかかる。議員からも心配の声があったが、八代市全体の状況を考えると、給食センターだけ被害がない状況となった場合にどう機能するかということもあり、周囲の状況も考え、この設計に落ち着いた。確かに、調理機材等が全て浸水することにはなるが、避けられなかった。

澤村教育委員

検討を重ねた結果の設計であると思う。

防災広場があるが、水害、地震等で地域の方が避難された場合に、地域の方々への炊き出し等に使うということで理解した。

早田教育委員

新給食センターをイメージすることができた。防災としての役割を追加してはどうかと話をしたことがあるが、しっかり防災拠点として防災広場の特徴を入れてあり、地域の方々在这里で防災訓練や避難訓練ができるのではないかとイメージできた。

2点お尋ねしたい。マンホールトイレについて、水を流す必要があるがどのようにするのだろうか。また、受水槽についてお尋ねしたい。

押方教育政策課長

マンホールトイレは、使用するときには、マンホールのふたを取ってマンホールに直接置くものであり、水を必要としない。汲み取り式となっている。

受水槽は飲料水として供給できるものである。

中松教育政策課長  
補佐兼学校給食係  
長

この受水槽は、給食センターで使用する水を貯めるものである。

早田教育委員

受水槽は普段から使用すると理解した。

仕事上、防災用のトイレを目にすることがある。東京のほうでは、防災井戸から生活用水を汲み上げたり、水洗トイレとして流すことができたりして、清潔にトイレを使用できる。マンホールトイレはどのようにして水を流すのか気になってお尋ねした。

八竜小学校、坂本中学校はこの給食センターから配送することになるが、坂本の給食室について、もう一度立ち止まって考えていただきたい。この地域の給食センターは、単なる給食を作る施設ではなく、実際、令和2年7月豪雨災害時に、道路が寸断され地域が孤立するなかで、炊き出し拠点として機能し、2日間、子供から高齢者の命を支える役割を果たした。もしもの話ではなく、この地域で実際に起きた経験の話である。過疎化の地域においては、給食センターは教育

インフラであると同時に地域の防災の重要な拠点となる。コストや効率性の視点が必要であることは十分理解している。子供の人数が少なくなるなかでは、進めていかななくてはならないと思う。ただ、給食の提供の効率だけで評価してしまうと、災害時の代替手段がない地域特性が見えなくなってしまう。教育委員会としても子供の命をどう守るか、学びをどう守るか、非常時に学校や地域がどう機能していくかということ、廃止ありきではなく、改めて機能強化を含めた再検討をお願いしたい。これは坂本地域だけではなく、東陽町、泉町でも起こり得ることである。各地域の災害リスクに応じた対応の検討をお願いしたい。

田中教育部長

八竜小、坂本中については、来年4月から2校の給食を坂本中で一緒に作ることにしている。効率的な部分もあるが、作る食数が少なく、今の設備では調理ができないレベルの食数となっている。まだ設備は新しいので、坂本中で調理し、八竜小に配送することを4月から試験的に始めたいと保護者の方々にも説明をしている。

災害時における調理については、令和2年7月豪雨の経験を考えると、残しておきたいという思いはある。施設は坂本中学校が新しい。解体するのではなく、残しておきたい。道路が寸断された場合は、ここで調理するしかない。ただし、給食センターには食材のストックがない。災害時に設備はあるが、食材がない状態となる。これについては、担当の危機管理課とも調整しながら、今後検討をしていきたい。

## 5. 連絡事項

教育政策課 八代市小学校プログラムコンテスト（やつプロ2025）結果  
 学校教育課 第2回英検結果  
 インフルエンザによる学級・学年閉鎖の状況  
 県立中受検（1/11 選抜日、1/22 合格発表）  
 八代市立幼稚園合同閉園式（1/18 10:00～）  
 幼稚園卒園式・修了式（3/19）  
 生涯学習課 令和8年二十歳の集い（1/11 14:00～）  
 教育サポートセンター  
 年頭研修会オンデマンド配信（1/5～19）  
 くま川教室3学期開級式（1/13）  
 教育論文等審査委員委嘱状交付式（1/20）  
 第2回不登校対応研修（1/23）  
 第6回トワイライトセミナー（1/29）  
 未来の学校づくり推進室  
 八代市立学校再編等基本方針（案）について  
 事務局 1月定例会日程確認（1/26 14:00～）  
 2月定例会日程変更（2/20 10:00～）

6. 会議録署名委員の指名 渡邊委員・早田委員

7. 閉会 (午後 3 時 5 6 分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---